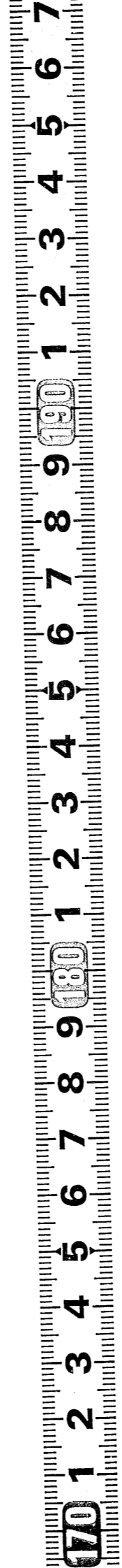


0437

陸
密
綴

昭和二十年

陸軍省
陸密
S 20~1
1



終り

極 秘

經戰訓第二十三號

本資料ハ球部陸軍經理部長ノ報告ニ依ル

昭和廿年四月廿七日

空襲ニ依ル飛行場及諸施設ニ關スル教訓

所 長

昭和二十年三月五日
野戰經理長官部

64 0585

庶務係長

目 次

- 一 爆撃概況ノ主要ナル點
- 二 飛行場ノ施設
- 三 地上施設

空襲ニ依ル飛行場及諸施設ニ關スル教訓
一 爆撃概況ノ主要ナル點

一〇月一〇日ノ〇七〇〇ヨリ一五四五迄ノ長時間ノ敵爆撃ハ第一次ヨリ第五次ニ亘ル波狀攻撃ニシテ其ノ狀況ハ計畫的且組織的ニ大膽ニ實行セラレタリ

2. 飛行場攻撃ニ於テハ其ノ重點カ兵器、器材特ニ附屬施設（掩体及建築物）

ニ指向セラレタリ從テ飛行場附近ノ部落等ニシテ利用セラレアリト認めラレルモノハ徹底的ニ攻撃セラレタリ

3. 攻撃法ハ急（緩）降下爆撃ニ銃砲撃ヲ併用シ彈種ハ主トシテ二五〇匁乃至

三〇匁ヲ使用シ且燒夷彈攻撃ヲ併用セリ 爆撃精度ハ良好ナリ燒夷彈攻撃間ニ於テモ他種爆彈ヲ混用シ我カ消火作業ヲ妨害シツ、燒夷彈ハ風上ニ投下シ其ノ燒夷效果ヲ大ナラシメタリ

二 飛行場ノ施設

（イ）附屬施設

（イ）平時の構整ニ基ク飛行場ニ在リテハ其ノ被害最モ大ナリキ即チ飛行地區

ニ隣接セル地上施設及之ト同様ト見做シ得ル工事中ノ飛行場ニ於ケル假設建物（飯場、事務所、諸倉庫）ハ殆ント全部ヲ灰燼ニ歸シ民家ニ於テ

モ飛行場附近ノモノ及長大ナルモノモ同様ニ燒盡セラレタルモ野戰的構整ニ基ク附屬施設ハ殆ト三角兵舎ニシテ附近山地ノ中腹森林中ニ設定シアリシ等ニ依リ最モ攻撃激甚ナリシ某飛行場ニ於テモ被害ナカリキ

（ロ）長大ナル建物ノ被害ヲ受ケタルモノ多シ即飛行地區外ニアル獨立セル小

建物タル方向探知所及送信所ハ被害殆ンドナキニ拘ラス同シ狀況下ニア
ル兵站宿舎、分廠合同宿舎及民間製糖工場等ノ長大建物ハ何レモ被害甚
大又ハ灰燼ニ歸セリ 尙飛行地區ニ近接セル分廠敷地ニ於ケル發動機試
運轉場等ノ小建物ハ被害ナカリキ

（ハ）飛行地區内ニ在ル建物ハ茅葺程度ノ一小戰鬪指揮所ニ至ル迄灰燼ニ歸セ

リ故ニ之カ對策トシテハ建物ヲ最小限度ニ止メ且鐵筋コンクリートノ強

各は各各
竹藪

力ナルモノカ（飛行地區附近ノ展望アル小山ノ中腹ヲ半洞窟トシ僅カノ
鐵筋コンクリート量ニテ強力ナルモノトスルモ一案ナリ）或ハ迅速ニ構
築シ得ル應急構造（天幕程度）ニ依ルヲ可トシ他ノ如何ナル構造（周圍
ノ土壘程度ノモノ）ノモノモ急降下銃砲爆撃ニ對シテハ效果ナキモノト
ス（例掩体内ノ飛行機ニテモ各個ニ直撃彈ヲ受ク）又偽飛行機ト同様ニ
偽似建物ヲ相當程度考案シ攻撃力ヲソレニ吸收スルモ效果アリ

(二)野戰的三角兵舎ト雖モ平地ヲ避ケ各地、山ノ中腹ニ構築スルヲ效果的トス
今回ノ爆撃ニ於テモ流彈ニ依ル爆風破壊一、二ノ外殆ント被害ナカリキ
又離島於テハ艦砲射撃ニ對シ山腹ノ利用法時ニ敵機ノ侵入及突進方向ヲ
検討シ巧ニ地形ヲ利用シテ設定スル如ク著意スルコト緊要ナリ

(三)工事中ノ飛行場ト雖モ材料置場及建築中ノ無遮蔽ノモノハ殆ト發見攻撃
セラレ被害ヲ受ケタリ 但シ分配配置シアリシ小建物ノ被害ハ一極部
（一、二棟程度）ニ止マレリ一般ニ工事中ノ無遮蔽ハ現場ニアリテハ攻撃ヲ
受ケタル例他ニモアリ故ニ完成後ニ於テ遮蔽ヲ完全ニナサントスル思想ハ誤

又陣地洞窟工事ニ於テモ工事中ノモ無遮蔽ノ爲攻撃ヲ受ケタル例アリ
之等ハ位置秘匿上注意ヲ要ス

(一)對空遮蔽ノ爲樹木及茅葺屋根等ヲ廣豁ナル平地ニ利用スルニ方リテハ周
圍ノ明度ヲ考慮スルヲ要ス 然ラサレハ却ッテ上空ヨリノ搜索ニ方リ端
緒ヲ與ヘ攻撃ノ目標ヲ呈スルコトアリ

2. 洞窟施設

(ハ)居住及燃彈格納洞窟ハ遮蔽良好ナラハ空襲ニ方リ殆ント被害ナク其ノ效
果良好ナリ今回ノ空襲ニ方リテハ遮蔽良好ナリシ爲攻撃ヲ殆ント受ケサ
リキ 洞窟ノ位置ハ附近地形ニ制約セラル、事多キモ飛行地區、三角兵
舎、洞窟ノ三者ノ距離的關係ニ就テハ飛行場使用ノ目的、指揮連絡、敵
ノ攻撃ニヨル損害等彼此勘案シ嚴密ニ検討シ決定スルヲ要ス
當管區ニ於テハ三角兵舎（地上補備施設半洞窟式）ト洞窟施設ヲ併用シ
アリ

燃彈用洞窟施設ハ燃彈ノ輸送等ニ若干ノ無理アル場合ト雖モ飛行地區ヨリ離隔セシムルコト絶対ニ必要トス

當座使用ノ爲飛行場周邊ニ分散集積スル燃彈ニ在リテモ必ス洞窟又ハ半洞窟トナシ其ノ集積量ヲ減シ分散遮蔽スルコト絶対ニ必要ナリ 今次空襲ニ於テ當軍管區ニ於テ遠隔分散及飛行場分散ノ前記處置セルモノハ全ク被害ナカリシハ之ヲ立證スルモノナリ

3. 飛行機掩体及誘導路

(イ) 飛行地區ニ隣接シアリシ有蓋掩体(コンクリート構造)ハ攻撃ヲ受ケス被害ナシ

(ロ) 無蓋掩体ハ今次ノ如キ攻撃ニ對シテハ效果ナシ 遮蔽又ハ偽騙ノ對策ヲ講スルヲ要ス

(ハ) 位置ノ選定ハ飛行場使用ノ目的ニヨリ異ナルモ防衛的態勢ニ在リテハ敵ノ意表外ノ位置ニ分散秘匿遮蔽ノ對策ヲ講スルヲ要ス

飛機修資材ヲ豫メ多ク集積シ置クヲ要ス 特ニ飛行機掩体ノ高度分散ニ伴ヒ誘導路長大化スルヲ以テ飛行場ノ構成上其ノ機能ヲ阻碍セサル以外ニ於テハ既設道路等ヲ活用シ企圖ヲ秘匿スル等創意工夫ヲ要ス 特ニ當管區ニ於ケル如ク册册礁マカダム舗裝ヲ採用セル飛行場ニ於テ然リトス

4. 滑走路地區

標高二五〇所多ク其ノ地形ハ他ノ數例ト大差ナシ(二五〇所ニ中解二〇一ニ米、深二一、五米—三米)

(ロ) 舗裝地區ニ對スル彈痕補修ハ其ノ舗裝材料ト同質ノモノ集積シアリ且舗裝構造ハ珊瑚礁マカダムナルヲ以テ補修技術比較的容易(水又ハ火力ヲ使用シテ工作セス輾壓機ノミニ依ル)且良好ナリ 特ニ其ノ短時間ニ施工シ得ルノ利便ヲ特徴トス

(ハ) 彈痕補修材料ノ集積位置ヲ充分ニ検討スルヲ要ス

同一飛行場ニ在リテモ其ノ被彈公算ノ大ナル個所ハ多ク他ハ少ク集積スルヲ要ス 即チ滑走路及誘導路ノ分岐點、誘導路ノ交叉點ノ如キ場所ハ

七
多ク、被彈僅少ナル地域ハ少ク集積スル等之等戰訓ヲ活用スルト共ニ彈痕補修ノ諸元（人員、器材、時間）ヲ調査シ次ノ對策ニ備フルヲ要ス

五 空襲下ニ於ケル工事現場

(イ) 特ニ飛行場ニ於ケル工事器具ハ迅速ニ補充シ得ス 且他ニテ代替シ得サルヲ以テ充分ニ注意シ分散遮蔽掩護ノ處置ヲ講シ置クヲ要ス飛行場内飛行機ノ附近ニ置キタル輾壓機、牽引車、爆撃ヲ受ケタルモノ又飛行場中央近クニ於テ無遮蔽ノ輾壓機中ノ輾壓機ノ被害及「トラック」並ニ豫備軌條其ノ他材料及工具場ノ對空露出或ハ爆撃目標物ニ近接シテ置ケルモノハ例外ナク損害ヲ受ケタリ

(ロ) 工所用假設物タル飯場、事務所、其ノ他ノ建物ハ絶對ニ長大ナラシメス小規模ニ分散遮蔽シ置クヲ要ス 當管區内ノ平時ヨリノ引繼工事個所ハ例外ナク全滅シ工事繼續ニ支障ヲ來セリ

空襲ト同時ニ勞務者ヲ退避セシメ其ノ逃散ヲ阻止シ得タルモ其ノ糧食ハ平時ニ於テモ不足勝ニテ豫備ハ全然保有セズ且補給ハ大部分民需ニ依存シアリ之カ爲其ノ補給ヲ絶タレ且又其ノ收集輸送力モ確保シ得スシテ結局一時勞務者ヲ分散歸郷セシムルニ到レリ 又飯場、寢具、食器ノ被害ハ爾後ノ補充ニ支障アリタルヲ以テ之カ對策ヲモ考慮シ置クヲ要ス

三 地上施設

ノ 既設兵舎ハ全般的ニ殆ント被害ナシ

之ハ主トシテ攻撃ノ重點ヲ飛行場、港灣、都市ニ指向サレタル結果殆ント被害ナシ特ニ當管區内兵舎ハ全面的ニ屋根「ルーフィング」及外壁下見板防腐劑塗ニテ古ク且周圍ノ照度ト近似シ又地形ノ選定モ對空上概ネ當ヲ得タル結果ト認ム 然レドモ尙一部ニ在リテハ目標トナリ爆撃ヲ受ケタルモノニ
三〇〇米附近ニ落達セルヲ以テ被害ヲ受ケム
附近部落（七〇戸位）ハ全滅（部落民ノ集團退避カ目標トナリタル如シ）セルアリ又兵舎附近ノ警察ノ建物カ特ニ露出シ攻撃目標トナレリ